

教科・種目名	国語
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 大単元の初めに何を学ぶのかが分かりやすく書かれ、中心発問が示されている。巻末に学び方を示したページも示されている。
- 2 それぞれの教材に活用できる図書が中盤に掲載されており、主体的な読書や夏休みの読書指導に生かせる。
- 3 フォントサイズや絵、写真は、学習に活用するときに、拡大するなど、指導の工夫が必要である。

【学校図書】

- 1 「①確かめて書こう②考えて書こう③生かそう」と表記されているので、学習の流れが分かりやすく、児童が見通しをもって学習できる。
- 2 書くことの単元が充実しており、児童が意欲的に学習活動に取り組める。
- 3 教材文の最後に学習の手引きが位置付けられているが、手引きの内容が分かりにくく、若手教員にとっては、指導に工夫が必要である。

【教育出版】

- 1 自分の考えや気持ち、思いを主体的に表現したり、対話をしたりする内容を多く取り上げている。また、具体的な対話の場面を絵と言葉で記載し、児童が活動の見通しをもって、主体的に活動を進めやすい。
- 2 それぞれの教材の最後に、児童向けの学習の進め方が示されており、経験の浅い教員でも単元作りがしやすい。巻末の付録にも、説明の仕方やノートの取り方等、教員にも児童にも活用しやすい内容が記載されている。
- 3 物語文では、それぞれの発達段階の児童の気持ちに寄り添うような内容の教材が、厳選されている。

【光村図書】

- 1 物語文が充実しており、児童の興味を高める発達段階に合っていたり、登場人物の心情を豊かに想像したりする内容が多い。
- 2 上巻教科書巻頭に、単元の進め方と各教材文が領域別に示されている。各教材文の進め方も具体的に示されているので、教員が単元を工夫しやすい。
- 3 紙面の絵や写真の豊富さが、配慮を要する児童にとって刺激が強く集中しにくい。また、言語指導の充実に伴い、他の領域の学習内容とのバランスに注意する必要がある。特に経験の浅い教員は、年間計画を見据えた指導力が必要である。

教科・種目名	書写
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 他教科の学習の中で書写の学びを生かすことを意識化できるようになっている。
- 2 左利きや色覚多様性への配慮がされている。
- 3 内容について、経験の浅い教員には指導の工夫が必要である。

【学校図書】

- 1 「①確かめて書こう②考えて書こう③生かして書こう④振り返り」と学習の進め方があり分かりやすい。
- 2 様々なコラムを掲載し、学習に興味・関心をもって主体的に取り組めるようになっている。
- 3 配慮を要する児童には色がカラフルで刺激が多い。

【教育出版】

- 1 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために5つのしかけ「思考を促す図版・学習のプロセス・活動写真・対話の言葉・学習方法の選択」が書かれている。
- 2 「学習のめあて・試し書き・考えよう・ここが大切・まとめ書き・生かそう・振り返ろう」という学習の流れで書かれている。
- 3 内容の情報量がやや多いため、指導には有効である。

【光村図書】

- 1 学習の進め方「1考えよう 2確かめよう 3生かそう」と書かれているので学習の流れが分かりやすい。
- 2 6年生には「書写ブック」が付いている。全学年の発達段階に応じた様々な書き方とそのポイントが示され復習と日常生活への活用ができる。

- 3 3学年に付いている「たしかめシール」は経験の浅い教員には、指導に活用するときに、配慮が必要である。

【日本文教出版】

- 1 「①考える②確かめる③生かす」の3ステップで構成し、学習過程が分かりやすい。
- 2 言語活動を扱ったコーナーを各学年に掲載し書写で身に付けた力を様々な場面で活用できるようになっている。
- 3 配慮を要する児童には、表紙の色がカラフルで刺激が多い。

教科・種目名	社会
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 働かせたい社会的な見方・考え方である「時間的」「空間的」「相互関係」を、「位置や広がりに着目」、「時間に着目」、「かかわりに着目」、「比べる、分類する、総合する、関連付ける」に分けて、活用のポイントが例示されている。
- 2 学習の進め方を、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす・広げる」のように、順を追って示している。
- 3 新出の用語やキーワードとなる言葉を、「ことば」として短い文章で説明されている。
- 4 「まとめる」の段階で多様な表現活動が紹介されており、学習内容や児童の実態に合わせて、まとめの活動を選択している。
- 5 単元ごとに関わりのある他教科の単元名が記されており、教科横断的な学習を支援できるようになっている。
- 6 5年は「上巻」と「下巻」に、6年は「政治・国際編」と「歴史編」の分冊になっている。

【教育出版】

- 1 社会科の見方や考え方を「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連づける」「総合する」の項目に分けて掲載されており、それぞれの具体例が分かりやすく示されているため、どのように学習を進めるとよいか分かる。
- 2 学習の進め方を「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の順で掲載されており、見直しをもって問題解決的な学習を進められる。
- 3 毎時間ごとに「問い」が例示されており、今日はどのような学習をするのか分かる。

- 4 比較資料が見開きやグラフなどで掲載されているため比べて考えられる。また、写真資料やイラストが豊富で視覚的である。そのため、気付きや問題意識をもつことができるように工夫されている。
- 5 全ての文字が太く読みやすい字体で書かれている。キーワードとなる言葉は更に太字で強調して示されており、ユニバーサルデザインとしても意識されている。
- 6 「上巻」「下巻」のように分冊になっておらず、「合本」になっている。

【日本文教出版】

- 1 社会的な見方・考え方を働かせる手立てとなる、「見方・考え方コーナー」が設けられており、「空間」「時間」「関係」のどこに着目して考えると良いか示されている。
- 2 「選択・判断」が求められる単元では、学習問題について考えを交流した後、「さらに考えたい問題」を設定し思考を深められるようにしている。
- 3 本文が、「学習活動」「友達の発言」「学習内容」の3つに分けられた構成になっており、どの内容について学習しているのか分かる。
- 4 「学び方・調べ方コーナー」には、資料の読み取り方が示されている。また、「やってみようコーナー」では、学習したことを活用する活動が紹介されている。
- 5 写真資料や地図が大きく、児童の興味・関心を高めるような資料が多く掲載されている。また、人へのインタビューや出来事に関する記述が全体的に豊富に掲載されている。
- 6 「上巻」「下巻」のように分冊になっておらず、「合本」になっている。

教科・種目名	地図
--------	----

【帝国書院】

- 1 初めて地図を活用して学習する児童のために、「地図って何だろう」では、真横から、斜め上から、真上からの写真を段階的に示し、最終的に地図で表している。
- 2 3年生が活用する「広く見わたす地図」は、160万分の1の地図を掲載している。そのため、名称や位置を見やすくしたり、各地の名産品や観光地などのイラストを豊富に扱ったりしている。
- 3 日本固有の領土である北方領土や竹島・尖閣諸島について、写真に加え解説も掲載してある。東西南北端を示した地図に領土が記載されている。
- 4 教科等横断的な学習のために、外国語活動や外国語科では14カ国語の挨拶や、外国から日本に伝わった言葉を示している。理科との関連では方位を調べるために方位磁針の活用を示している。算数科との関連では距離の求め方を解説しており、スケールバーを用いて実際の距離を求める作業に応用できる。音楽科では音楽の舞台となったところを示している。
- 5 「地図マスターへの道」として、「位置や空間的な広がり」、「時期や時間の経過」、「事象や人々の相互関係」などの社会的な見方・考え方や地図活用の技能を養うことを意識した問いを設定している。
- 6 地図上の文字の配置が重ならないように工夫されていたり、親しみやすいイラストが配置されていたりして、児童が楽しみながら地図帳を使った活動ができる。

【東京書籍】

- 1 日本の自然災害について、日本地図上にいつ起こったか、どのような災害で、どのような被害の状況なのかについて詳しく記されていて、児童が主体的に、見方・考え方を活用しやすい内容になっている。

- 2 日本の貿易についての世界地図、日本の歴史と世界の歴史とのかかわりがわかるような世界地図が掲載しており、調べ学習を通して深い学びが得られる内容になっている。
- 3 初めて地図を活用して学習する3年生にも、地図の仕組みや約束事が分かるように、ページいっぱいの鳥瞰図を用いている。鳥瞰図、真上からの地図、地図というように、段階を追って視点の変換を行っている。
- 4 「首都東京」のページを設け、たくさんの観光名所が大きく掲載されており、文京区の観光名所が多く掲載されていて児童に馴染みがある。
- 5 世界の国々に興味をもてるように、児童が好きな動物や料理の写真を多く掲載している。日本の世界遺産を、位置関係と分かりやすく質の良い写真で掲載されている。
- 6 地図上の文字の配置が重ならないように工夫されている。また、親しみやすいイラストを配置していて、児童が楽しみながら地図帳を使った活動ができる。

教科・種目名	算 数
--------	-----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 算数1年①のみA4版書き込み方式で編成しており、ひらがなに習熟していない児童でも使いやすい。
- 2 数直線と線分図がともに掲載されていることにより、系統立てて指導しやすい構成になっている。
- 3 2年以上には、各単元末に「つないでいこう 算数の目」では、身に付けさせたい数学的な見方・考え方に焦点を当て振り返り、深めることができるようになっている。
- 4 巻末「おもしろもんだいにチャレンジ」は、習熟度の高い児童にも興味をもてる内容になっている。

【大日本図書】

- 1 全学年で1冊のため、各学校のカリキュラムに応じて単元の入れ替え等がしやすい。既習事項もすぐに確認できる。
- 2 1年から3年の教科書に「おうちでさんすう」では、学習した事を地域や家庭で生かすように促している。
- 3 各単元で働かせた数学的な見方・考え方が「ひらめきアイテム」として提示されている。アイテムは切り取れる巻末シートにメモして、別の問題で活用できるよう配慮されている。
- 4 5, 6年の内容にプログラミング教育への対応として、同じソフトウェアを使い、正多角形や比例のグラフをかく活動が示されている。

【学校図書】

- 1 パフォーマンス評価の考えを取り入れ、学年末にこれまで学んだことを活用するページと自己評価表が掲載されている。

- 2 見方・考え方を「算数で見つけない考え方モンスター」としてキャラクター化しており、児童が親しみながら見方・考え方を働かせることができるようになっている。
- 3 大きさは縦B5版、横A4版であるため、絵や図等が大きく掲載されており見やすい。
- 4 児童が苦手とする「割合」の単元について、「全体とその部分の比べ方」と「2つの量の比べ方」の単元を2つに分けて構成している。

【教育出版】

- 1 巻末に「コンパスの使い方」「線分図の描き方」「数直線」の描き方等の機能的な既習事項を載せていて、参照しやすい。
- 2 児童の問いを軸に学習を進める構成になっている。児童の「?はてな」から学習のめあてをつくり、主体的・対話的な学びを通して問いを深め、「!なるほど」を見だし。新たな問い「!?だったら」へとつなげていくように工夫されている。
- 3 児童が多様な考えをもてるような構成になっている。特に円の面積を求める問題は、図が実寸大の大きさで取り上げられている。そのため、実測して面積を求める方法が想起されやすい。
- 4 単元のまとめでは、学んだことのよさを振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を児童が理解しやすいように工夫されている。

【啓林館】

- 1 ICTを用いた学習に力を入れている。全単元内にQRコードが付いており、タブレット等でデジタルコンテンツを利用して理解を深められるようにしている。
- 2 巻末の付録が充実しており、児童の興味をひく活動を展開できるようになっている。
- 3 教科書の年間配当時数は他社と比べて少なく、標準時数よりもゆとりのあ

る分量である。児童の実態や理解度に応じて、柔軟に指導時間を調整することができる。

- 4 「面積」の学習では、他社と異なり、三角形の面積を求める問題から始まり、三角形の面積をもとにすればすべての面積を求められることを重視している。

【日本文教出版】

- 1 1年で繰り上がりのある加法と繰り下がりのある減法は連続しないように構成するなど、他学年でも学習の混乱を避けるような単元配列になっている。
- 2 「算数マイトライ」では、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3つのコーナーで構成されていて、基礎・基本から応用・発展まで、児童の実態に応じた柔軟な取り扱いができるように工夫されている。
- 3 新しい単元に入る前に、これからの学習する内容のもとになる既習事項を確認する「次の学習のために」が設けられている。
- 4 各学年の配当時間にゆとりをもって学習できる分量になっている。

教科・種目名	理 科
--------	-----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 A4サイズで大きく、レイアウトに工夫が見られる。
- 2 児童が考察する場面では、主に働かせる「見方・考え方」を児童に分かりやすく示している。
- 3 教師の与える課題でなく、子供の発想を大切にした課題作りができ、児童の願いを取り入れた単元構成が可能になる。
- 4 観察・実験器具の扱い方がまとめられている。安全対策のためのマークが明確である。
- 5 問題解決学習の流れで、予想の部分の押さえが弱い。話し合い活動が、細かく示されている。

【大日本図書】

- 1 B5変形サイズはノートと同じサイズのため、扱いやすい。
- 2 「理科の学び方」と「教科書の使い方」で使い方の徹底を図っている。問題解決の学習過程を重視し、ノートのまとめ方が丁寧である。
- 3 実験・観察での技能面に関する助言が多く、スムーズに実験や観察を行うことができるようにしている。
- 4 学年の巻末に「学習のまとめ」「問題練習(チャレンジ)」があり、児童の家庭学習でも使える。
- 5 問題解決の学習の流れで、結果の見通しの情報量があると指導しやすい。

【学校図書】

- 1 B5変形サイズはノートと同じサイズのため、扱いやすい。
- 2 単元のまとまりを感じさせる色遣いや、学習の流れが明示されている。
- 3 学習内容と関わる日常生活を通じて、理科の有用性を実感できるように配慮されている。
- 4 児童がこれまでの学習を振り返り、知識・理解を確かめ、繰り返し学習ができるようになっている。
- 5 問題解決の学習の流れで、結果の見通しの記述があると指導が充実される。

【教育出版】

- 1 B5変形サイズであるが、図や写真が他社に比べて大きく見やすい。
- 2 各単元初めに「学習のつながり」があり、児童も系統性が押さえられる。前年度の学びを巻頭、今年度の学びを巻末にまとめている。
- 3 問題解決の過程を大切にし、結果の見通しを大切にして活動している。
- 4 巻末に図鑑等が付いている。個人で活用でき、学習に役立てられる。
- 5 問題解決の流れの中で、学習過程を重視するあまり、子どもの主体的な思考を育む指導が必要である。

【啓林館】

- 1 B5変形サイズはノートと同じサイズのため、扱いやすい。
- 2 前後の学年で扱う栽培植物を「理科の季節ごよみ」で紹介している。
- 3 ものづくりに力を入れ、「ものづくり広場」を巻末にまとめている。
- 4 単元最後の「まとめノート」の表記は、図と言葉で知識整理がされ、分かりやすい。自主的な学習を促している。
- 5 問題解決の流れの中で、単元冒頭の「学習のめあて」は、子供に先入観を与えてしまう。自然現象との出会いから、学級全体で話し合っ問題をつくる前に、見通しがついてしまう。

教科・種目名	生活科
--------	-----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 全体的に写真が児童の学習意欲を喚起するものとなっているや、知的好奇心を刺激する資料が示されている。
- 2 「きれいにさいてね」の単元では、植物の成長の様子を比較することができるよう写真の配列やページの構成に工夫がある。
- 3 巻末の「べんりてちょう」「ポケットずかん」は、児童の学習意欲を引き出し、学びを広げる資料となっている。
- 4 観察カードの書き方を大きく、具体的に提示するなど、児童が活動のポイントを意識して取り組むことができるような配慮がある。
- 5 文字表現が多く、十分読めない低学年初期には難しい部分がある。

【大日本図書】

- 1 表紙が立体的で、児童の興味を引くデザインになっている。
- 2 「生活言葉」「キラキラ言葉」等の特設コラムは、言語活動を充実させ、語彙力向上、言語能力の育成、生活科の学びの深まりにつなげるような配慮がある。
- 3 入学期の単元では、学校生活の流れを踏まえた構成とし、スタートカリキュラムへの配慮がされている。
- 4 単元導入のページは、単元全体の活動の見通しをもたせるための工夫が見られる。
- 5 「がっこうにくるみちかえるみち」は、栽培単元の後に配置されており、年間の学校生活により、単元の配列を検討することも考えられる。

【学校図書】

- 1 上巻の植物栽培単元では、栽培植物をアサガオ一つに絞っている。下巻の野菜栽培単元では、児童の願いを大切に自分で野菜を選ぶことで、自

己決定できる単元づくりに工夫がある。

- 2 児童の発達段階を考慮した観察カード・発見カードを示し、児童が多様な方法で表現活動ができるような工夫がある。
- 3 写真や絵等の資料が大きく児童の学習意欲を高められる。
- 4 「ものしりノート」は、実際にやってみたくなる具体的な活動例が示されており、興味関心を引き出す資料となっている。
- 5 全体的に写真より、絵や情報量が多い。

【教育出版】

- 1 入学期の単元に写真を多数使用し、スタートカリキュラムを意識した児童の興味や関心を引き出す構成になっている。
- 2 単元配列・教材の分量は標準的である。
- 3 「かぞくにここに大きくせん」では学習後にも家族に意識を向けさせる等、単元での学習を児童の生活につなげるための工夫がある。
- 4 ページ端にヒントコラムとして「感じる」「比べる」など観点が書かれており、活動ごとに思考の視点が明確化されている。
- 5 児童の発達段階を考えると、情報量が多いページがある。

【光村図書】

- 1 スタートカリキュラムのページを幼児期とのつながりや、3年生以降の社会・理科・総合とのつながりを大切にした単元配列になっている。
- 2 実物大の種や球根の写真は、児童にとってイメージをもちやすく、児童の学習意欲を引き出すものとなっている。
- 3 同じ場所の写真が季節ごとにあり、春夏秋冬の変化に気付くように工夫している。児童の心を揺さぶり、活動を広げる資料が多い。
- 4 吹き出しにより発問が示され、自分なりの見方や考え方を引き出すための工夫が見られる。
- 5 学習したことを振り返るカードにシールを貼る等の工夫をしているが学習のねらいから思考や活動が外れないよう、指導の工夫が必要である。

【啓林館】

- 1 活動の流れが、児童にとって分かりやすく、自然な流れである。「活動⇒カードでまとめる⇒伝え合う⇒振り返る」という流れで学習活動が一貫している。
- 2 児童の思いをもとに、学習活動をつなぐ単元構成の工夫がみられる。
- 3 大きめの写真使用やカード記入例や学習図鑑等、児童が学習に取り組む際に参考できる資料が豊富である。
- 4 QRコンテンツが配置され、動画や音声再生ができる。
- 5 ページによっては児童が書いた観察カードが見にくいものがある。

【日本文教出版】

- 1 児童に身に付けさせたい資質・能力を分かりやすいように工夫して教科書に明記され、児童も学習のめあてとして意識できる。
- 2 植物栽培単元で、植物の成長の様子が比較できるように写真の配列やページ構成され、児童の気付きを引き出すことができる工夫がある。
- 3 吹き出しのつぶやきが、児童の思考の助けとなっている。
- 4 写真・絵等の資料が小さく、ICTによる拡大が必要である。
- 5 見開きページに配置されている資料の配置を工夫して指導する必要がある。

教科・種目名	音楽
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【教育出版】

- 1 題材が、鑑賞と器楽や歌唱を関連付けて構成されている。
- 2 題材名が大きくくりで抽象的である分、サブタイトルで学習のねらいを補うことができている。
- 3 例示等が詳細に示されているが、そのことが児童の発想を制限しないように指導を工夫する必要がある。
- 4 楽器を紹介する写真が効果的に編集されている。

【教育芸術社】

- 1 巻頭・巻末の編集が、児童が学習の見通しをもったり、学習したことを適切に振り返ったりすることができるようなページ構成になっている。
- 2 題材名がねらいを意識した表現となっているため、児童が学習のめあてをつかみやすい。
- 3 カードや表、図形譜などが適切で、学習内容を捉えやすくしている。
- 4 楽器の写真・演奏法等について、児童の立場に配慮した掲載の仕方が工夫されている。
- 5 表現の工夫等について明記されているので、児童の考えようとする意欲を喚起する指導の工夫が必要である。

教科・種目名	図画工作
--------	------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【開隆堂】

- 1 学習のめあて・活動・振り返りの文言が工夫されていて、児童が自らの考えをもって学習の振り返りを行うことができるような内容になっている。
- 2 児童の発達段階に応じた安全指導への配慮が掲載されており、指導者にも児童にも分かりやすい。
- 3 ページ毎の作例に統一感があるために、一定方向の表現に偏らないよう、指導の工夫が必要である。
- 4 写真が大きく掲載されており、子どもの活動も多く取り入れられているので、イメージしやすい構成になっている。
- 5 レイアウト上の構成が読みやすい。
- 6 鑑賞のページの画像サイズが大きく掲載されており、細部までじっくり鑑賞することができるよう工夫されている。
- 7 オリンピック・パラリンピックに関連している題材が紹介されている。
- 8 ユニバーサルデザインを意識した紙面構成になっている。

【日本文教出版】

- 1 鑑賞と造形活動を組み合わせた題材が充実していて、見るだけではない鑑賞活動が展開されている。
- 2 1題材に対する様々なアプローチが提示されていて、造形遊びが多く取り上げられ、地域性も考えた活動方法が提案されている。
- 3 見開きページで想像を広げる資料があり、発達段階によって内容が工夫されている。
- 4 各題材の中に片付け方が分かりやすく提示されている。
- 5 中学年では、制作活動のヒントになりそうな作家の作品が「ひらめきポケ

ット」として提示されていて児童の興味関心を引き出しやすい構成になっている。

- 6 作例写真に多様性があり、様々なアプローチから題材に取り組めることが伝わってくる構成になっている。
- 7 ユニバーサルデザインを意識した色彩構成になっている。
- 8 吹き出しや読み手に向けた問いかけがなど、指導するときに工夫が必要である。

教科・種目名	家庭
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各題材を3ステップで展開できるようになっている。振り返りを生かした自己評価も含め、問題解決的な学習展開ができる。
- 2 「家庭科の見方・考え方」が題材ごとに示されているので、その視点をもとに児童が学習を進めることができる。
- 3 身に付けるべき基礎的・基本的な知識及び技能については実物大のイラストや写真が掲載されており、基礎・基本が確実に定着につながっている。
- 4 5年、6年の発達段階に応じた題材配列がなされており、系統性も図られている。
- 5 QRコードがあることで個々のペースで主体的に学習が進められるとともに、動画等の資料により学習時間外でも確認することができる。
- 6 防災、伝統文化、国際理解等、実生活との関連が図りやすいよう、多様な視点の内容展開がなされている。
- 7 コラムの内容が充実しており、児童の興味・関心から学習を始めることができる。

【開隆堂】

- 1 各題材が3ステップで展開できるようになっており、それぞれのめあてが明確化されていることで、児童が取り組みやすくなっている。
- 2 題材構成が適切であり、系統性が図られている。また、学校行事等の実態にもあっている。
- 3 発展的な内容につながる写真や資料が充実している。導入の見開きの絵は学習全体を示すものとなっており、焦点化しにくい印象を受ける。
- 4 全体の題材構成が細分化されたことによりスモールステップで学習を進められる。

- 5 「持続可能な社会」という視点から見ると、調理実習の内容等に環境に配慮しているところが見られる。
- 6 1つの単語が行をまたがないように編集されているため読みやすく、理解しやすい。
- 7 QRコードがあることで動画等の資料により学習時間外でも個々のペースで主体的に学習が進められる。

教科・種目名	保健
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 とびらページでは、一目で学習の流れや目標がわかるようになっている。
また、他の教科の単元との関係性を横断的に考えることができる。
- 2 各章では、ステップ1～4まで段階的に構成されていて、主体的に進められるように工夫されている。
- 3 分量が多い。資料等を活用しながらも、取捨選択の必要がある。
- 4 絵や図が効果的に提示されている。調べ学習にも適している。
- 5 体つきの変化の表現では、男女の水着が掲載されており、直接的過ぎる傾向がある。
- 6 ポイントとなる用語が太字で表現されている。

【大日本図書】

- 1 各章の導入で学習ゲームが設定されている。児童は、ゲームとととして何を学習するのかきっかけをつかむことができる。
- 2 各章で学習の流れは異なるが、対話ができるよう「話し合ってみよう」が掲載されている。
- 3 イラストが中心で表現されている。
- 4 体つきの変化もイラストで、正面図のみである。
- 5 文章中に太字で表現されている箇所はない。
- 6 ガン教育に関するページが、1/4ページである。

【文教社】

- 1 各章では、学習段階1～2で大きくまとめられている。まとめは「新しい自分にレベルアップ」という表現がされており、学習後の成長を想起させている。
- 2 下段には、豆知識や発展的な内容が掲載されており、理解を深められるよ

うになっている。

- 3 ページ下に、児童の目線で助言が書かれており、共感できるようになっている。
- 4 体つきの変化もイラストで正面図のみである。
- 5 ポイントとなる用語が太字で表現されている。
- 6 「個人差」という表現を使わず、「人によって違いがある」と表記されている。

【光文書院】

- 1 章のとびらでは、学習内容を4コマ漫画で表現し、児童の関心を惹きつけられるようになっている。
- 2 各ページの横に、章末にある資料が掲載されており、すぐに関連を調べることができる。
- 3 関連を外部ウェブサイトで閲覧できるようになっている。タブレット端末を用いての学習で活用できる。
- 4 教科書全体の色遣いが、淡色系で構成されておりとても見やすい。
- 5 体つきの変化は、男女ともに同じ衣装を着た写真である。
- 6 章末に、自分の性の自認及び性的嗜好について示されている。
- 7 ポイントとなる用語が太字で表現されている。

【学研教育】

- 1 各章では、つかむ・調べる・深めるの3段階に構成されていて、主体的に進められるように工夫されている。
- 2 ページ下に豆知識や発展的な内容により、理解を深められる。
- 3 章末に、発展的な内容が掲載されているので、関連付けて学習に取り入れられるとともに、児童の関心を高められる。
- 4 ガン教育について、1ページを使用し説明している。
- 5 歯について、問題を育むようなグラフが掲載されている。

教科・種目名	外国語
--------	-----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 今年度まで使用していた副読本に使われている内容が似ており、1学年1テーマで関連性や系統性がある内容である。
- 2 文の構成がわかりやすいように主語や述語に色付けされており、視覚的に理解しやすい。
- 3 別冊の絵辞書が添付されていて、児童が使いやすく、活用しやすい。

【開隆堂出版】

- 1 今年度まで使用していた副読本と配列は異なるが、内容はほぼ同じで、児童の発達段階に適応しやすい。
- 2 他教科との関連を明確に示しているので、横断的に使用しやすい。
- 3 話す・聞く・書くがバランスよく配置されている。

【学校図書】

- 1 今年度まで使用していた副読本とは、内容構成・場面設定が異なり、慣れが必要であるが、ストーリー仕立ては興味深い。
- 2 巻末に辞典などがついていますが、カードそのものが小さいが、表記内容は十分な量がある。また、表記されている文字や写真等も小さいものもあるが、書く活動の文字は大きくするなど工夫されている。
- 3 1ページの情報が多いが音声での繰り返しが多く、理解促進が図れる。

【三省堂】

- 1 今年度まで使用していた副読本の内容や配列と異なる構成や場面設定である。
- 2 活動がパターン化され、学習を重ねることで児童が見通しをもちやすいが、単調なため、担任だけでも指導ができる構成になっている。
- 3 絵や写真がわかりやすいが、文字数が多い印象がある。

【教育出版】

- 1 今年度まで使用していた副読本と配列が若干異なるものの、内容は踏襲されていて移行しやすいが、ALTなしでは説明や指導が負担になる内容もある。
- 2 切取り式のワークシートが添付され、活用しやすく、評価もしやすい。
- 3 絵や写真が鮮明で、文字を書く欄が色付けされ、わかりやすい。

【光村図書】

- 1 今年度まで使用していた副読本に使われている内容とほぼ同じで、円滑に移行できる。
- 2 学習の積み重ねを意識させるつくりになっていて、分かりやすい。
- 3 文字遊びや歌など、言語への興味をもたせる構成が充実している。

【啓林館】

- 1 今年度までの副読本と内容や配列が同じで円滑な移行が図れる。
- 2 文字の量が多く、詰め込みすぎの印象を受ける。また、文字を書く学習も多いので、児童の実態によっては使いにくい。
- 3 ペアワーク等により対話的な学習が進められるような内容になっている。

教科・種目名	特別の教科 道徳
--------	-------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 1年間にわたり、内容項目の配列が工夫されている。特に、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する内容の教材が多く配置されている。
- 2 道徳の時間の過ごし方について書かれており、学習のオリエンテーション等への活用に効果的である。
- 3 オリンピック・パラリンピックの教材については、タイムリーな教材が取り上げられており、児童の興味関心を引き出すことができる。
- 4 題名の前に「見出し」があることで、児童にとって見通しがもちやすい半面、児童の考えが広がりにくいことも考えられるので、指導上の工夫が必要である。

【学校図書】

- 1 全内容項目がバランスよく1～2回ずつ振り分けて設置されている。
- 2 いじめ問題、オリンピック・パラリンピック関係、特別支援関係等、現在の課題に対応した教材が配置されている。
- 3 内容項目に関係するコラムが詳しく紹介されており、児童の興味関心を引き出すことができる。
- 4 別冊の資料活用により、学習展開や指導内容に統一が図られるが、教師の発問が限定されてしまうことが考えられるので、指導上の工夫が必要である。

【教育出版】

- 1 「いじめ」「命」など、大きなテーマとなる内容項目が明確にユニット教材として掲載されており、教師が意識して指導していく際に有効である。
- 2 情報モラルの教材など、現在の課題につながりをもたせていくために有効

な教材が掲載されている。

- 3 「伝統や文化の尊重」「国や郷土を愛する態度」「希望と勇気」「努力と強い意志」の4項目がバランスよく配置されている。
- 4 モラルスキルトレーニングなど、「やってみよう」の体験的な学習が入っているが、体験活動が主になってしまうことも考えられるので指導上の工夫が必要である。

【光村図書】

- 1 始まりのページ「道德のとびら」「道德の学び方」を活用することで、児童が学習の見通しをもちやすい構成となっている。
- 2 教材によって配置されている「演じて考えよう」のページは道徳的価値が深められるように工夫されており有効である。
- 3 教材の終末が、「なぜだろう」「考え込んでいます」など、自分の考えを問う終わり方になっており、児童が考えやすい構成となっている。
- 4 教材の挿絵や写真は美しく、児童の興味を引くことができるが、文章の叙述が細かく、詳しく書かれているので、指導上の工夫が必要である。

【日本文教出版】

- 1 キャリア教育、いじめ対策、情報モラルの視点からバランスよく教材が配置されている。
- 2 「道德のとびら」「道德の学び方」を活用してオリエンテーションを実施することで、児童が道徳の学習の見通しもつことに効果的である。
- 3 題名の前後に、「見出し」「導入のための発問例」「あらすじ」があることで、児童にとっては考えるきっかけがもちやすい構成となっている。
- 4 道徳ノートを別冊にしており、ノートに書く分量も適度であるが、ノートへの記入により、教師の発問が限定されてしまうことも考えられるので、指導上の工夫が必要である。

【光文書院】

- 1 40の教材が掲載されており、児童の実態や教師の指導の願いを実現する

ために教材を選択することができる構成となっている。

- 2 挿絵や写真などに工夫があり、児童が興味・関心を高めやすい構成となっている。
- 3 教科書にあるトピック的なページは、問題解決的な学習の進め方に効果的である。
- 4 道徳ノート書き方の例示を示すなど、児童が表現するヒントを提示していることは分かりやすいが、児童の思考が制限されてしまう場合もあるので、指導上の工夫が必要である。

【学研教育みらい】

- 1 教科書の大きさ、文字の大きさ、イラストや写真の効果的な配置等、児童への見やすさの配慮が多い構成となっている。
- 2 文京区に関連のある資料、ノンフィクション、タイムリーな話題の教材が入っており、児童の興味・関心を引き出す内容となっている。
- 3 教材文中にある人物絵文字マークは、児童が場面理解をしたり、深く気持ちを考えたりすることに効果的である。
- 4 題名と教材名のための構成となっているため、児童に見通しを持たせるためには、指導上の工夫が必要である。

【廣濟堂あかつき】

- 1 漫画での資料提示、補助資料の提示等により、児童が興味・関心を高める工夫がされている。
- 2 「道徳ノート」の巻末にある体験活動の記録は、自分の考えを自由に書き込むことができ有効である。
- 3 教材の始めが、主題と題名の構成となっており、児童の発想や考えを広げていくことに効果的である。
- 4 定番教材が多く配置されている半面発達段階に考慮した指導上の工夫が必要である。